

～地域の子どもは、地域で育てる～

北っ子放課後子ども教室 【呉市】

教室の概要

○ 教室の目的

放課後、地域のボランティアが中心となって、様々な遊びを指導するなどして、子どもたちの健全育成を図る。

○ 教室開設の経緯

呉市から「放課後子ども教室」としての指定を受け、教室を開設した。

【開始年度】平成20年度	【実施校区】昭和北小学校区
【開催場所】昭和北小学校 教室, 体育館, 運動場	【コーディネーター人数】1人 【安全管理員人数】6人 【学習アドバイザー人数】6人 【ボランティア人数】10人
【開催日・開催時間】隔週の水曜日の2時間	
【年間開催日数】20日	
【参加学年・平均参加人数】 小学校4～6年生 38人	

活動内容

○ 一日の主なメニュー

① **あいさつ** → ② **宿題** → ③ **メイン活動** → ④ **あいさつ**

○ 特徴的な活動プログラム

区分	主な活動
活動①	バルーン, 折り紙, オセロ, 将棋, ウノ
活動②	七夕の飾り作り
活動③	バスケットボール
活動④	跳び箱, ドッジボール
活動⑤	わらづくり
活動⑥	けん玉 (※指導者: けん玉名人)
活動⑦	工作教室 (プラトンボ作成) (※指導者: 青社会の方々)
活動⑧	サッカー
活動⑨	ジェンカ
活動⑩	カローリング (※昭和地区のカローリング大会に出場)



けん玉大会



カローリング大会

運営上の工夫

○ プログラムの企画・立案の工夫

児童は、遊びといえばゲームが中心で、遊びをあまり知らない。そこで、できるだけ児童があまり体験をしたことがないような遊びを提示して、児童の関心を引きつけ、意欲をそそるように計画している。また、児童の希望もある程度取り上げるようにし、一方的な指導にならないように心がけている。

○ スタッフ確保の工夫

スタッフは、地域の自治会のメンバーが中心になっている。放課後子ども教室のみならず、1年生の「こま回し大会」や2年生の「昔遊び大会」等の指導者も務める等、昭和北小学校の児童のために、日々貢献している。また、外部から、けん玉等の名人（指導者）を招聘することにより、児童は目を輝かせながら取り組んでいた。

○ スタッフ間の連携の工夫

日頃からともに活動をしているメンバーでスタッフを構成しており、気心も知れているため、連携をスムーズに行うことができている。チームワークよく指導を進めている。

○ 手作りの道具の工夫

既存の遊び道具のみで遊ぶのではなく、手作りの遊び道具を製作し、児童の興味や関心を高めており、児童は意欲的に遊んでいる。指導者自身も児童とともに、楽しみながら取り組むということが、最大の工夫である。

事業を実施して

【参加者の声】

（6年児童の声）

地域のボランティアの人たちに、カローリングや輪回しなど、新しい遊びを教えていただいても楽しかったです。また、下級生や地域の方々とも仲良くなれて、学校の行き帰りで会ってもあいさつをしたり、声かけをしてもらったりしてとても安心しています。

【成果と課題】

地域のボランティアの方々から、日頃遊ぶことのないカローリングや昔遊びなどを教えていただき、子どもたちは楽しく、有意義に過ごすことができた。また、子どもたちは、地域の方々と遊ぶことにより、交流を深め、平素顔を合わせても、あいさつができるようになった。

児童が馴れ合いで、指導者の指示を聞かない場面があり、ルールを徹底しておく必要がある。